

目次

◆巻頭言 北海道の国道除雪……………小 西 郁 夫 / 1
 荒川調節池総合開発事業の概要……………横 塚 尚 志 / 3

グラビヤ——首都高速板橋戸田線の工事現況

首都高速板橋戸田線の工事概要……………塩 入 照 文 / 11
 国道 260 号布施田浦橋主塔の施工……………越 智 俊 文 / 18
 —ジャンピングステージ工法……………佐 木 藤 和 道 一
 効率的な NATM の機械化施工……………石 田 義 昭 / 24
 (SMB 工法) の開発……………中 田 好 重
 木 村 時 康 彦 隆 男
 根入れ式鋼板セル……………土 居 論 / 31
 施工管理システムの開発……………今 村 一 紀

◆随 想 観察について……………佐 藤 英 輔 / 36
 建設機械の生産・輸出入の動向……………諸 岡 秀 行 / 38

◆昭和 62 年度官公庁・建設業界で採用した新機種
 建設業界……………小 室 一 夫 / 43
 第 39 回通常総会開催…………… / 66

◆新工法紹介
 高精度・超大型連続地中壁工法 / MTW 工法……………調 査 部 会 / 79

◆新機種ニュース……………調 査 部 会 / 81

◆統 計
 建設工事受注額・建設機械受注額の推移……………調 査 部 会 / 85
 行事一覽…………… / 86
 編集後記……………(小 松・杉 本) / 90

◀表紙写真説明▶

ディファレンシャル
 ステアリング機構搭載
 CAT D6H ブルドーザ
 新キャタピラー三菱株式会社

本機はキャタピラー社が独自に開発した画期的なディファレンシャルステアリング機構(常に左右の履帯に動力を伝えながら旋回できる機構)を搭載した CAT ブルドーザの最新鋭機である。この新機構は既に CAT D8N ブルドーザに採用され、ユーザの間で高い評価を得ており、今回の D6H、D7H への導入により、従来のステアリングクラッチ機構搭載車に加え、顧客のニーズによりキメ細く対応する機種選択を可能にした。本機の特徴は、

- ① 旋回しながら押土作業が力強くスピーディに行え、高い生産性を発揮する。
- ② ステアリング操作と前後進の切替は 1 本のレバーで的確かつ簡単に行え、作業性が向上するとともにオペレータの疲労を軽減する。
- ③ 片荷下り作業が容易で、サイドカット・整形・溝掘削などの作業に威力を発揮。
- ④ 傾斜地での旋回性能がすぐれており、急な下り坂でも逆ステアリング不要。
- ⑤ 類繁な操向微調整が必要な押土作業でも動力は常に左右の履帯に伝えられており、力強い押土性能を発揮する。

◀主な仕様▶

総 重 量……………	19,600 kg
エンジン出力……………	167 PS
接地圧……………	0.29 kg/cm ²
接地長……………	3,265 mm
全 長……………	5,570 mm
全 幅……………	3,995 mm
全 高……………	3,200 mm (キャノピ上端)
掘土幅寸法……………	幅 3,995×高さ 1,100 mm